



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月1日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4368 URL http://www.fusokk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤澤 良太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 榎本 修三 TEL 03-3639-6311
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	17,232	△2.0	4,553	27.7	4,459	21.8	3,056	24.9
28年3月期第2四半期	17,577	22.4	3,564	57.0	3,660	59.2	2,446	69.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 2,072百万円 (△4.2%) 28年3月期第2四半期 2,162百万円 (8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	86.08	—
28年3月期第2四半期	77.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	49,395	41,154	83.3	1,158.99
28年3月期	48,158	39,970	83.0	1,125.64

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 41,148百万円 28年3月期 39,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
29年3月期	—	18.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,800	△1.4	8,400	15.4	8,300	13.7	5,700	20.9	160.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	35,511,000株	28年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	7,095株	28年3月期	7,002株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	35,503,986株	28年3月期2Q	31,504,045株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善の傾向が見られ、個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとする新興国の成長鈍化や、英国におけるEU離脱問題による経済不安、米大統領選における経済政策不確実性により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは最適な経営資源の投下、在庫・生産体制の抜本的見直しによる経営体質の更なる強化、原料の安定的な確保およびコスト競争力の強化を進めるとともに、“FUSOブランド”のグローバル市場での確立を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は172億32百万円（前年同期比2.0%減、3億44百万円減）となりました。営業利益は45億53百万円（同27.7%増、9億89百万円増）、経常利益は44億59百万円（同21.8%増、7億99百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、30億56百万円（同24.9%増、6億10百万円増）となりました。

売上高は、円高により海外子会社の円換算売上高および国内会社の輸出売上高の円換算に影響を及ぼしたため、前年同期を下回りました。営業利益は、円高による仕入価格の低減、コスト削減に加え、電子材料および機能性化学品事業の京都事業所において、当連結会計年度の下期に予定している、大規模設備投資の工事による生産停止に備えて、当第2四半期連結累計期間で前倒し生産を実施しています。その結果、製品の原価が低減し、営業利益は前年同期を上回りました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が105億80百万円（前年同期比8.1%減、9億36百万円減）、営業利益は19億11百万円（同16.1%増、2億64百万円増）となりました。

リンゴ酸・フマル酸等の果実酸類の販売は好調に推移しましたが、円高が海外子会社の円換算売上高および外貨建て売上高に大きな影響を与え、売上高は前年同期を下回りました。営業利益は、海外子会社の利益に対する円高の影響がありましたが、石油化学製品価格の下落、ならびに円高効果により、果実酸の原材料価格および商品輸入価格が下落したほか、コスト削減が利益率の向上に貢献したことにより、前年同期を上回りました。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が66億52百万円（前年同期比9.8%増、5億91百万円増）、営業利益は31億85百万円（同33.3%増、7億96百万円増）となりました。

円高により外貨建て売上高は大きな影響を受けましたが、半導体市場が引続き堅調であり、半導体プロセスの微細化の進展に伴った当社製品「超高純度コロイダルシリカ」への需要も旺盛となっています。さらにナノパウダー等の半導体研磨分野以外向け製品の販売も堅調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。営業利益は前述のとおり、販売数量の増加や前倒し生産による原価低減により、前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億36百万円増加し、493億95百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、82億41百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ11億83百万円増加し、411億54百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月6日の決算短信で公表しました平成29年3月期の連結業績予想を次表のとおり修正します。

平成29年3月期通期連結業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,800	7,400	7,400	5,000	140.82
今回修正予想 (B)	34,800	8,400	8,300	5,700	160.54
増減額 (B-A)	—	1,000	900	700	19.72
増減率 (%)	—	13.5	12.2	14.0	—
(ご参考) 平成28年3月期実績	35,298	7,279	7,299	4,716	143.76

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、円高による果実酸類の原材料価格および商品輸入価格の低下、超高純度コロイダルシリカ、ナノパウダーの好調な出荷、設備投資に伴う生産停止に備えた前倒し生産による製造原価の低下により、利益で前回発表予想を上回りました。

下期につきましては、電子材料および機能性化学品事業において、大規模設備投資の工事による生産停止を予定しているものの、超高純度コロイダルシリカ、ナノパウダーの需要が引き続き旺盛であると予想されます。さらにライフサイエンス事業においても、円高の影響はあるものの、引き続き堅調に推移すると予想されるため、平成29年3月期通期の利益が前回発表予想を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,709,108	20,070,962
受取手形及び売掛金	9,424,352	9,144,930
商品及び製品	5,039,621	4,924,471
仕掛品	173,437	139,581
原材料及び貯蔵品	821,000	827,305
繰延税金資産	439,808	427,107
その他	621,272	585,629
貸倒引当金	△6,825	△6,004
流動資産合計	34,221,777	36,113,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,934,434	5,600,963
機械装置及び運搬具(純額)	2,668,201	2,286,202
土地	3,067,304	3,056,366
建設仮勘定	2,975	168,730
その他(純額)	411,299	363,771
有形固定資産合計	12,084,215	11,476,034
無形固定資産	292,926	258,905
投資その他の資産		
投資有価証券	710,757	692,590
長期前払費用	20,272	37,736
繰延税金資産	608,017	610,287
退職給付に係る資産	52,482	42,100
その他	310,250	291,513
貸倒引当金	△141,765	△127,613
投資その他の資産合計	1,560,014	1,546,615
固定資産合計	13,937,155	13,281,555
資産合計	48,158,933	49,395,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,060,456	2,297,056
未払金	921,741	968,404
未払法人税等	1,380,461	1,339,991
賞与引当金	441,595	524,514
役員賞与引当金	165,000	44,400
その他	811,408	674,960
流動負債合計	5,780,663	5,849,327
固定負債		
繰延税金負債	377,149	355,199
退職給付に係る負債	1,554,286	1,563,192
資産除去債務	8,526	8,526
その他	467,899	464,974
固定負債合計	2,407,861	2,391,892
負債合計	8,188,525	8,241,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	29,043,520	31,212,246
自己株式	△3,760	△3,926
株主資本合計	38,194,530	40,363,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271,562	266,778
繰延ヘッジ損益	△9,403	△6,938
為替換算調整勘定	1,508,062	525,757
その他の包括利益累計額合計	1,770,222	785,597
非支配株主持分	5,654	5,631
純資産合計	39,970,407	41,154,318
負債純資産合計	48,158,933	49,395,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	17,577,515	17,232,530
売上原価	10,745,310	9,602,691
売上総利益	6,832,204	7,629,839
販売費及び一般管理費	3,267,742	3,076,346
営業利益	3,564,462	4,553,492
営業外収益		
受取利息	7,318	9,219
受取配当金	21,267	9,922
受取手数料	9,695	7,963
為替差益	40,543	—
その他	22,403	11,353
営業外収益合計	101,227	38,458
営業外費用		
支払利息	3,152	—
為替差損	—	129,913
その他	2,493	2,321
営業外費用合計	5,646	132,235
経常利益	3,660,043	4,459,715
特別利益		
固定資産売却益	5	103
投資有価証券売却益	104,598	—
特別利益合計	104,603	103
特別損失		
固定資産売却損	16	374
固定資産除却損	1,794	2,558
特別損失合計	1,811	2,933
税金等調整前四半期純利益	3,762,836	4,456,885
法人税、住民税及び事業税	1,305,895	1,401,809
法人税等調整額	10,767	△1,626
法人税等合計	1,316,663	1,400,182
四半期純利益	2,446,172	3,056,702
非支配株主に帰属する四半期純利益	121	376
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,446,050	3,056,325

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,446,172	3,056,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△128,414	△4,783
繰延ヘッジ損益	△1,391	2,464
為替換算調整勘定	△154,030	△982,304
その他の包括利益合計	△283,836	△984,624
四半期包括利益	2,162,335	2,072,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,162,214	2,071,701
非支配株主に係る四半期包括利益	121	376

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,762,836	4,456,885
減価償却費	791,150	648,548
のれん償却額	109,315	—
固定資産除却損	1,794	2,558
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△461	△286
賞与引当金の増減額(△は減少)	49,086	85,835
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,000	△120,600
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	56,401	19,315
受取利息及び受取配当金	△28,585	△19,141
支払利息	3,152	—
為替差損益(△は益)	6,914	163,490
投資有価証券売却損益(△は益)	△104,598	—
固定資産売却損益(△は益)	11	271
売上債権の増減額(△は増加)	204,184	91,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	282,653	△58,299
仕入債務の増減額(△は減少)	207,672	284,705
未払金の増減額(△は減少)	△35,719	△10,430
その他	△239,928	△83,890
小計	5,035,880	5,460,210
利息及び配当金の受取額	28,749	19,224
利息の支払額	△2,380	—
法人税等の支払額	△1,458,417	△1,437,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,603,832	4,042,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△89,899	△8,412,489
定期預金の払戻による収入	88,141	14,756,974
有価証券の取得による支出	△182,595	△158,025
有価証券の売却による収入	182,595	158,723
有形固定資産の取得による支出	△400,730	△294,560
有形固定資産の売却による収入	985	472
無形固定資産の取得による支出	△27,490	△10,317
投資有価証券の取得による支出	△2,821	△2,861
投資有価証券の売却による収入	148,132	14,000
長期貸付けによる支出	—	△500
長期貸付金の回収による収入	270	162
その他	△16,801	△26,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△300,214	6,025,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	—
長期借入金の返済による支出	△586,000	—
自己株式の取得による支出	—	△166
配当金の支払額	△315,084	△886,407
非支配株主への配当金の支払額	△400	△400
リース債務の返済による支出	△7,488	△3,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,108,973	△890,299
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,308	△460,396
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,148,336	8,716,790
現金及び現金同等物の期首残高	5,521,982	11,214,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,670,318	19,930,921

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,516,119	6,061,395	17,577,515	—	17,577,515
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,518	—	6,518	△6,518	—
計	11,522,638	6,061,395	17,584,033	△6,518	17,577,515
セグメント利益	1,646,215	2,389,169	4,035,385	△470,923	3,564,462

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
△476,657千円、その他5,734千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,580,026	6,652,504	17,232,530	—	17,232,530
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,580,026	6,652,504	17,232,530	—	17,232,530
セグメント利益	1,911,091	3,185,394	5,096,485	△542,992	4,553,492

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
△542,992千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。